

2026 年 7 月 薬事審議会 結果

薬剤科

1. 新規採用

1) サルプレップ配合内用液 480mL 922.8 円/瓶

採用区分	院外
効能効果	大腸内視鏡検査時の前処置における腸管内容物の排除
用法用量	① 検査当日に投与する場合 検査前日の夕食後から絶食（水分摂取は可）とします。検査開始予定時刻の 3 時間以上前から、サルプレップ 480mL を 30 分かけて服用し、その後、水またはお茶約 1L を 1 時間かけて飲みます。排泄液が透明になるまで、サルプレップ 240mL と水またはお茶約 500mL を追加で服用します（サルプレップの総量は 960mL まで）。 ② 検査前日と当日に分けて 2 回投与する場合 検査前日は、夕食を服用開始の 3 時間以上前までに済ませ、サルプレップ 480mL を 30 分かけて服用後、水またはお茶約 1L を 1 時間かけて飲みます。その後は絶食（水分摂取は可）とします。検査当日は、検査開始予定時刻の 2 時間以上前から、排泄液が透明になるまでサルプレップ 240mL と水またはお茶約 500mL を追加で服用します（前日分を含めサルプレップの総量は 960mL まで）。

2) マンジャロ皮下注 7.5mg 5,772 円/キット

3) マンジャロ皮下注 10mg 7,696 円/キット

採用区分	院外のみ
効能効果	2 型糖尿病
用法用量	通常、成人には、チルゼパチドとして週 1 回 5mg を維持用量とし、皮下注射する。ただし、週 1 回 2.5mg から開始し、4 週間投与した後、週 1 回 5mg に増量する。なお、患者の状態に応じて適宜増減するが、週 1 回 5mg で効果不十分な場合は、4 週間以上の間隔で 2.5mg ずつ増量できる。ただし、最大用量は週 1 回 15mg までとする。

4) ツートラム錠 25mg 25.8 円/錠

効能効果	非オピオイド鎮痛剤で治療困難な下記における鎮痛 慢性疼痛、疼痛を伴う各種がん
用法用量	トラマドール塩酸塩として 1 日 100～300mg を 2 回に分けて経口投与する。なお、症状に応じて適宜増減する。ただし 1 回 200mg、1 日 400mg を超えないこととする。
備考	入院した場合、トアラセット配合錠のみとなる
	トアラセット配合錠：(6.3 円/錠, 25.2 円/4 錠/日) 1 錠中：トラマドール 37.5mg アセトアミノフェン 375mg

以上